

WedsSport

YOKOHAMA

SHINKO

OGURA
CLUTCH

MIE TOYOPET

NUTEC

Jms
Dr. J.C.T.

OKANO
Express

IGNITION POINT

DiESELAID

FUJITSUBO
EXHAUST SYSTEMS

BRIDE

宮田自動車商会
MYTRA

VOODOO RIDE



WellVets
— Animal Wellcare Group —

KDC
KENTUCKY
DENTAL CLINIC

GLOBAL
LIGHTING SYSTEM

SAVATYRE
タイヤカーキョウカ

TAMACHI

RACING PROJECT
BANDOH

『不運が続き自分たちのレースが出来ずに最終戦を終える。』



シリーズ名：2021 AUTOBACS SUPER GT シリーズ

大会名：2021 AUTOBACS SUPER GT Round 8 FUJI GT 300km RACE

レース距離：1周 4.563km×66周（301.16km）

11月 27日（土）

予選 Q1：国本選手 11位

□天候：晴れ | 路面：ドライ

11月 28日（日）

決勝 13位

□天候：晴れ | 路面：ドライ

予選

秋晴れの富士スピードウェイで開催される最終戦。今季第二戦では、ポールポジションを取り、トヨタのホームコースと言う事もあり、前戦もてぎで

獲得できなかった優勝を目指して爆走を誓う。





RD7 終了時点でドライバーランキング 9 位。

チームランキング 7 位とシリーズチャンピオン争いには参加できなかったが、来季に繋がるレース、TGR チームの一員としてファンが喜ぶレースをスタッフ全員で誓い、富士スピードウェイに到着した。

午前中に行われた公式練習では 1'27.541 と 10 番手のタイムとなったが、ポールポジションを目指し試行錯誤が続く。

予選は全車ウェイトハンディがリセットされ、ポールポジションで獲得できる 1 点が優勝争いを握るキーの一つとなっており、いつも以上に激戦が予想される。

Q1 のアタックドライバーは国本選手。Q1 開始直後に 19 号車を含む多くの車両がコースになだれ込んできた。残り 7 分半 で全車がコースインすると、ポールポジションを巡る争いがさらに激化していく。

Q2 突破ラインである 1 分 26 秒前半を目指して 19 号車のアタックは、Q1 残り 30 秒で 1:27.016 を出し暫定 7 位となるが、もう一周アタックを続け、Q1 チェッカーにて 1:26.876 とタイムを更新出来たが、順位は 11 位と Q1 敗退となってしまいました。

Q1 の結果は 1-38-39-8-36-3-14-37- (以下 Q1 敗退) -23-17-19-16-24-12-64 となりました。

Q2 はシリーズチャンピオンの権利のある 4 台を含めた争いとなり、8 台中 7 台がコースレコードを出した中、チャンピオンシップに生き残るための 1 ポイントをもぎ取った 14 号車がポールを獲得。以下、1-37-36-39-8-38-3 となりました。

明日の決勝は 6 列目から、今季最後の集大成にふさわしいレース結果を、そして表彰台へ向け爆走していきます。

皆様の応援、宜しくお願いいたします。



WedsSport

YOKOHAMA

SHINKO

OGURA CLUTCH

MIE TOYOPET

NUTEC

Jms

OKANO Express

IGNITION POINT

DiESELAID

FUJITSUBO EXHAUST SYSTEMS

BRIDE

宮田自動車商会

WOODOO ride



WellVets - Animal Welfare Group -

KDC

GLOBAL

Qmax tire

TAMACHI

RACING PROJECT BANDOH

予選コメント

【国本選手】



予選は 11 番手で Q1 突破出来ませんでした。最終戦なので Q2 に行きたかったですが厳しい予選になってしまいました。明日は今までの富士での苦戦してた部分とは違いレースに強いタイヤを選択しました。明日は追いつけるレースになります。明日も応援よろしくお願い致します。

【宮田選手】



決勝を見据えたタイヤ選択でした。残念ながら Q1 突破とはなりません。明日の決勝は追いつけるレースをします。寒いレースですが課題を克服できるように精一杯走ります。明日も応援よろしくお願い致します。

【坂東監督】



今回のタイヤ持ち込みセットはチャレンジしてマーキングをしました。現状の路面温度、路面状況に関して幅広い対応をタイヤに求められます。我々は第 2 戦でポールポジションを獲得していましたが狙ってはいたのですが少し路面温度が低かったですね。富士はストレートでもタイヤが冷えるので気温も物凄く影響します。結果は 11 番手でしたが得るものは大きかったので決勝は追いつけたと思います。FUJI とスーブラは絶対に相性が良いはずですから・・・

WedsSport

YOKOHAMA

SHINKO

OGURA CLUTCH

MIE TOYOPET

NUTECH

Jms

OKANO ExpPress

IGNITION POINT

DIESELAID

FUJITSUBO EXHAUST SYSTEMS

BRIDE

宮田自動車商会

WOODOO RIDE

WellVets

Animal Welfare Group

KEC

GLOBAL

Quart tire

TAMACHI

RACING PROJECT BANDOH

決勝

雲一つ無い快晴の富士スピードウェイで開催される最終戦。気温が23度、路面温度が22度と絶好のレース日和となる。

午前中のウォームアップ走行の結果は1'29.875の13番手となるが、後方からの追い上げで一矢報いる為にも最後まで調整が繰り返された。

レース前にはエアロバティック・パイロットの室屋義秀選手とSUPER GT参戦の国内外自動車メーカーによるパフォーマンス『"Challenge for the future" Yoshi MUROYA × LEXUS Special Flight@ FUJI SPE EDWAY』が行われ、レースに華を添えた。

スタートドライバーは国本選手。2周のフォーメーションラップを経てレースがスタート。絶好のスタートを来た19号車はオープニングラップで順位を2つ上げ9位。2周目には23号車を先頭とした6番手争いの最後に付き、前の車を追う展開となる。

が、3周目の最終コーナーで17号車が12号車に接触。その影響でイン側から2台が19号車の横に接触。スピン状態となり、左側のサイドフェンスを破損、左フロントフェンダー破損、リヤゲートの取り付け部分が外れてしまい、多重クラッシュに巻き込まれ、コースに復帰するものの、14番手まで後退してしまう。

7周目にクラッシュした300クラスの車両の撤去作業で8周目にSCが入る。そのため、各車のギャップが全てリセットされる。SC時の19号車は14位。13周目にSCが外れ、レースが再開すると、前の64号車をパスして13位に上がる。15周目に12号車がドライブスルーペナルティ消化のため、19号車が12位に一つ順位を上げる。

しかし接触の影響でドライバーからは無線で『オーバーステアが強い』とマシンがフリー走行と違うとコメントが入る

23周目にピットインし、宮田選手にドライバーを交代し、暫定13位でコースに復帰する。全車ピットインした33周目の19号車の順位は12位。41周目に接触の影響でやはりバランスがおかしくなってしまう2度目のピットインし、タイヤ交換をして14番手にてコースに復帰。

49周目に接触した事が原因でリヤゲート取り付け部分が外れてしまいメインストレートにリヤゲートを飛ばしてしまい、落下物回収のためにFCYが入る。53周目に1号車が55号車と接触。トラブルにて1号車はピットに入ると、順位を一つあげて13位となるが、残り8周でオレンジボールが19号車に出されて、修復のために3度目のピットに入





り、再びコースに復帰する。

序盤の接触で空力パーツの破損が有り、苦しい闘いの中、13 位にて完走する事となりました。

レースは、ポールポジションでスタートした 14 号車をオープングラップ 2 位の 1 号車をかわした 36 号車、37 号車以下数台が追従する形となったが、SC が 8 周目に入り、13 周目に再開したメインストレートで 36 号車が 1 コーナーでパスしてトップに躍り出ると、2 位以下を一度も寄せ付けること無くそのままチェッカー、36 号車はシリーズチャンピオンも獲得となりました。

以下 37-14-39-38-8-23-3-12-16-24-64-19-1-(以下リタイア)-17 と 1 位から 5 位を GR スープラが独占する形となりました。

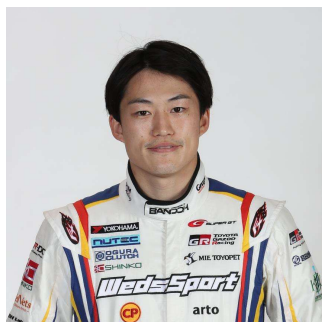
2021 年シリーズは、2 度のポールポジションと 2 度の表彰台 (順位最上位：2 位) を獲得でき、ドライバーズポイント 36Pt で 11 位、チームポイント 53Pt で 11 位となりました。

年間を通して、スポンサーの皆様、そしてファンの皆様の応援を受け、無事にシリーズを乗り切れることが出来ました。感謝いたします。本当にありがとうございました。

悔しい最終戦となりましたが最終戦のチェッカーと共に 2022 が始動致しました。今後も応援よろしくお願い致します。

決勝コメント

【国本選手】



スタートしてウォームはすごく良かったので 1 周目で順位を上げる事が出来ました。

そこから前が争ってる中で順位を上げれるかな？と思ったのですが 3 周目の最終コーナーで後ろの車が接触したことによってそのまま 19 号車のところまで接触したマシンが飛んできて、そこで接触し、勝負権を失ってしまいました。その時にエアロが壊れてしまって、その後の走行は厳しい状況の走行となりました。

本来のパフォーマンスを出せずに残念です。最終戦だったのでポイントを取って終わりが良かったです。1 年間で振り返ってチーム共にシーズン中の茂木 2 ラウンド中で優勝しようと戦ったシーズンでしたが優勝は出来ず 2 位という結果でした。

季節が変わる中で、良いところも悪いところも見た 2021 年でした。

来年度は悪いところを克服して強い戦いが出来るようにシーズンオフから頑張ります。

一年間応援ありがとうございました。



WedsSport

YOKOHAMA

SHINKO

OGURA CLUTCH

MIE TOYOPET

NUTECH

Jms

OKANO Express

IGNITION POINT

DIESELAID

FUJITSUBO EXHAUST SYSTEMS

BRIDE

宮田自動車商会

WOODOO RIDE

WellVets
— Animal Welfare Group —

KDC
KUMAMOTO DENTAL CLINIC

GLOBAL
GLOBAL COOL SYSTEM
GLOBE EXHIBITS

Quantum Fire
タイヤカーゴ

TAMACHI

RACING PROJECT
BANDOH

【宮田選手】



本来は他の TGR チームと同じ結果を望んでました。
全く苦しいレースでした。
最終戦、ドライバー、チームとして悔しいレースでした。
応援して下さったスポンサー様、ファンの皆様
期待に応えることが出来ず申し訳ありませんでした。
最終戦で起きた問題等を分析して来シーズンに活かしたいと思いま
す。今シーズン本当に応援ありがとうございました。

【坂東監督】



36 号車のチャンピオンは TGR としても最高な結果ですし、元 19 号
車のドライバーなので素直に嬉しいです。
僕らはチャンピオン争いしている 12.17 号車に巻き込まれてしまいま
した。
やはり、チャンピオン争いしてるからこそ、他車が無理する部分も想定し
ないといけないとドライバーに伝えなかった事が僕の足りなかった部分で
すね。最後の最後までファンが喜ぶレースをしたかったですでしたが難しかった
です。GR スーパー祭りにも参加できませんでした。

今年はポイント獲れたレースは 3 戦そのうち 2 戦が表彰台。もっともっと常に上位で戦えるチームにし
ないといけません。

タイヤ開発をメインに 2022 は強い 19 号車をお見せ出来るように努力致します。

今年はコロナ過でサーキットに来られなかった方も沢山いると思います。

沢山の応援ありがとうございました。

ファンの皆様がサーキットに来たくなるようなレースを来年も見せれるようにシーズンオフから改革を始め
ます。